

令和8年(2026年)5月20日

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

今年の夏も平年より暑くなりそうです

気象庁の長期予報によると、今後の気温は全国的に平年より高くなる可能性が高いとされています。特に初夏以降は、真夏日や猛暑日が早期に出現することが予想されており、家きんの暑熱ストレス対策の早期実施が重要です。

鶏は意外に暑さに弱い動物です。鶏が快適に過ごせる温度はだいたい18～24℃くらいで、この範囲を超えてくると体に負担がかかってきます。特に24℃を超えるとエサの食い込みが落ちてきて、30℃を超えると産卵率も下がりやすくなります。さらに暑さが厳しくなると、命に関わることもあるため、夏場の管理はとて重要です。

そのため、「鶏舎の環境づくり」が大事になってきます。ちょっとした工夫で、鶏のストレスや生産成績は大きく変わります。

暑さに負けない環境づくりで、鶏たちが元気に夏を乗り切れるようにしていきましょう。

◆鶏の暑熱対策ポイント・・・「遮光＋風＋水」でトータル対策

- ・遮光で日差しをカット → 遮光ネットやよしず等で日差しを和らげましょう
- ・風をしっかりと動かす → 扇風機や換気扇で空気を流しましょう
→ ネットや資材で風が止まっていないか確認
- ・飲水はとにかく十分に → 水切れがおきないように
→ 汚れやぬるさで飲みが落ちます
→ 飲水設備の確認
→ ニップル詰まりや水量不足がないか点検
→ 全羽がしっかりと飲める状態を確保



しあわせ信州
山々と育む すこやかな国

飼養衛生管理基準を遵守しましょう